

平成 29 年度 事業中間報告書 (12 月 1 日現在)

コース	☐ 自主事業コース ☐ 協働市民提案コース ☒ 協働行政提案コース
事業名	おいしく・たのしく・簡単な「まんま教室」～赤ちゃんから大人まで～
団体名	子育てひろば はなっこ
担当課	倉敷市保健所 健康づくり課

1 事業の成果

平成 29 年度申込書（様式第 2 号）に記載した「5(2)事業の実施に期待する効果」に対応する成果を記入してください。（※実施した事業の詳細は「4 事業実施記録」に記入してください。）

- ・まんまプレート（写真入りで調理方法を示したラミネート処理したプレート）を健康づくり課と連携し作成した。プレートには趣旨と活用方法などを記載し、子育て支援拠点に事前に説明を行った後設置してもらうことができた。プレートを見た親からは、「とても分かりやすい。」「マンネリ化しているので、指導をしてほしい。講習会とかがあればいい。」と市販の離乳食・幼児食を利用している人も調理に関心をもつきっかけとなり、支援者に調理方法や悩みを相談できるなど、食も含めた子育て支援が行える機会となった。また、子育て支援拠点からもプレートを設置してよかったという声が多く、支援者側も食への関心が高まったことがうかがえる。
- ・離乳食の悩みを持つ親が、離乳食づくりを体験し、料理方法を学び、親子で一緒に試食することで、「離乳食の進め方の見通しが持てた。」「作り方、固さや大きさなど具体的に分かり、家でもやってみようと思った。」と離乳食作りに対する不安感を取り除く事が出来た。
- ・作陽大学から多数の学生ボランティアの協力を得られた。
- ・託児に関わった学生からは、「託児だけでなく、食（離乳食）について学んでほしいといってもらえたことがうれしかった。」「離乳食の大切さがわかった。」「母同志の交流も生まれていて、こういう事業の大切さもよくわかった。」という感想があり、親子を取り巻く現状を理解するだけでなく、自分の成長過程にかけてくれた親の思いを感じることが出来、自身の食生活について考えるきっかけとなり、食への関心が高まったようだ。さらに、「とても参考になった。就職してこの経験を活かしたい。」「1 月に開催する恵方巻きにもぜひ参加したい。」という感想があり、報告を受けた担当教授からも今後の事業への期待や参加を希望する声があり、大学側と事業の今後の継続に向けたつながりができた。

2 事業の自己評価

事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば 100 点とします。なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は 100 点を超える点数を記入してください。

100

点

3 事業の課題

事業を実施する中で見えてきた課題を記入してください。

- ・まんまプレートを見た人からは「参考になった」とのアンケート結果は多くあったが、実際に家で作ってみようとする行動に結びついたか、2月の交流会で確認するなど、把握に努める必要がある。
- ・幼児食教室は離乳食教室と比べて参加者が少なかったが、幼児食期はすでに大人と同じものを食べている可能性が高く、離乳食期のほうが、離乳食の進め方や調理法に不安や悩みを抱える親が多いことが考えられた。
- ・学生ボランティアを中学校にも依頼したが、夏休みで他のボランティアに参加している学生が多く、参加が得ることが難しかった。開催時期や連携の方法について検討していきたい。

4 事業実施記録

実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数
まんまプレートの活用・事前説明会開催 まんまプレート設置施設（子育て支援拠点）に対し、まんまプレートの説明と活用方法の説明を行い協力をお願いした。子育て支援拠点との交流や意見交換の場ともなった。	6月24日（土） 10：00～12：00	まびいきいきプラザ	スタッフ 8人 行政2人	子育て支援拠点参加者数 4人
おいしく・たのしく・簡単な「まんま教室」 ～赤ちゃんから大人まで～ 幼児食教室 開催 《メニュー》 とうもろこしごはん 豆乳やさいスープ いろいろ野菜の豆腐スティック みかんのヨーグルトゼリー	8月19日（土） 10：00～12：00	まびいきいきプラザ	スタッフ 11人 学生2人 行政2人	参加者 6組 (13人)
おいしく・たのしく・簡単な「まんま教室」 ～赤ちゃんから大人まで～ 離乳食教室 開催 《メニュー》 かぼちゃのポタージュ かぼちゃのリゾット 秋鮭のホイル焼き おいもバナナ団子	9月9日（土） 10:00～12：00	まびいきいきプラザ	スタッフ 10人 学生8人 行政2人	参加者 14組 (30人)